

教科目標

衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるとともに、家庭生活を大切にしている心情をはぐくみ、家族の一員として生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

基礎的・基本的な知識及び技能の習得、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力を育む

言語活動の充実

言語を豊かにし、知識及び技能を活用して生活の課題を解決する能力を育む観点から、衣食住などの生活の中での様々な言葉を実感を持って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために、言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動を充実する。

実感を伴って理解し考察したことをレポートにまとめ、発表し合う事例

1 学年 第5学年

2 題材名 おいしいみそ汁をつくろう B(3)アイエオ

3 題材の目標

みそ汁のテイスティングを通して、だしの効果やだしの種類による特性に気付き、おいしいみそ汁の調理計画を工夫して調理することができる。

4 言語活動の充実の視点

視点1： みそ汁のテイスティングを通して気付いたことを言葉で表現し合ったり、DVDを視聴したりして分かったことを実習レポートにまとめる。

視点2： 調理実習を振り返り、上手くいった点や反省点、気付いたこと、これからの生活で工夫して生かしたいことをレポートにまとめ、発表し合う。

5 主な学習活動（全6時間）

段階	学習活動
第一次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・だしの無いみそ汁とさまざまな種類のだしを使ったみそ汁を試飲し、気付いたことを自分の言葉で表現し合い、レポートに記録する。 ・だしの取り方のDVDを視聴し、だしの取り方とさまざまなだしの特徴をレポートにまとめる。 視点1
第二次 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・にぼしだしで、どのグループも同じ実を使ってみそ汁をつくる。
第三次 (2)	<ul style="list-style-type: none"> ・グループでだしと実を工夫し、調理計画を立てる。 ・計画に従い、みそ汁と前題材で学習したごはんの調理をする。
第四次 (1)	<ul style="list-style-type: none"> ・実習を振り返り、反省点や気付いたこと、これからの生活に工夫して生かしたいことをレポートにまとめ、発表し合う。 視点2

家庭科における言語活動

- 生活の様々な事象を、実感を伴った生きた言葉として理解することで、人が生活を営むことの良さやその価値に触れ、生活の感性を高めていくことができます。
- 考えたり説明したりする活動により、生活をより良くしようとする意欲や生活で活用する能力などを身に付けることができます。

言語活動充実のポイント

- 実践的・体験的な活動の前後の言語活動を工夫しましょう。
- 観察する観点を明確にして予想したり、感じ取ったことや結果について考察したりしたことなど、考えた過程が分かるレポートの記入欄を工夫しましょう。
- 問題解決的な学習の各学習過程で、言葉や図表、概念などを用いて自分の考えを説明したり、表現したり、話し合ったりする活動を充実させましょう。

評価の観点

- 考えたり工夫したりしたことを図や言葉でまとめたり、発表し合うなどの表現に係る活動を、「生活を創意工夫する能力」の観点で評価します。